

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

食用として導入され、その後、ダム湖を中心に放流されました。鹿児島県では緊急防除種、環境省では特定外来生物に指定され、県本土各地で確認されています。肉食性の強い雑食であり、水生植物や水生昆虫などを多岐にわたり捕食するため、生態系全体への影響が懸念されています。生きたまま運搬することや飼育することは外来生物法で禁止されています。釣れた場合などは、リリース(再放流)せずに、安楽死させて持ち帰るか、その場に穴を掘って埋めましょう。外来魚回収ボックスが設置されていたらそれを活用しましょう。

1 基本情報

分類

目・科名	スズキ目サンフィッシュ科	
種名(亜種名)	ブルーギル	
学名	<i>Lepomis macrochirus</i>	
環境省カテゴリー	特定外来生物 緊急対策外来種	
県カテゴリー	緊急防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	関脇(本土)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的外来種ワースト100)	日本の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	北米	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	県内への侵入の経緯は不明。日本には1960年に、食用として導入され、その後、ダム湖を中心に放流された	
県内の侵入分布	県本土各地	
全国の侵入分布	ほぼ全国	
生態学的特性		
生態	食性は肉食の強い雑食で、水生昆虫や、エビ類、水草などを食べる。 主に湖やダム湖、ため池、河川の止水域などに生息し、オオクチバスよりも河川に適応している。	
形態	全長25cm。体高は高い。体形及び体色は、体には7～10本の暗色横帯があり、成長に伴い不明瞭になる。えらぶた後端の突出部に黒斑がある。	
繁殖形態	繁殖期は6～7月、オスが作ったすり鉢状の巣で産卵が行われ、卵および孵化後の稚魚はオスが保護する。	
生息環境	池や沼、流れの緩やかな河川の下流域に生息。	
特記事項	特定外来生物なので、学術研究や教育などを目的として、あらかじめ申請して許可を取得した場合を除き、飼育、保管、生きたままの移動等はできません。	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①両生類、魚類、水生昆虫、底生動物、水生植物などを多岐にわたり捕食することから、生態系全体への影響が懸念される。
県内で特に予想される被害	両生類、魚類、水生昆虫、底生動物、水生植物などの捕食。生態系全体への影響が懸念される。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①両生類、魚類、水生昆虫、底生動物、水生植物などの捕食。 ②食用としての導入。釣りの対象魚として放流。
3 対策	
ブルーギルを見つけたら	生きたまま運搬することや飼育することは外来生物法で禁止されています。釣れた場合などは、リリース(再放流)せずに、安楽死させて持ち帰るか、その場に穴を掘って埋めましょう。外来魚回収ボックスが設置されていたらそれを活用しましょう。
見分け方	ブルーギルは、体が平たく、体高が高い。目の後方にある濃紺の斑紋が特徴。小型の個体はフナ類やコイ科のタナゴ類に似ているが、ブルーギルは背中から腹部に向かう数本の縞模様(横縞)があることから区別できる。
見かけやすい場所・時間	活動時間は日中。流れの緩やかな河川下流域や湖沼の水面に樹木がせり出した場所や、水中の物陰。
防除方法	モンドリでの捕獲。
防除の取組事例	滋賀県では、滋賀県漁業調整規則による罰則規定がある。また、琵琶湖で漁業者による外来魚の捕獲を行っている。 環境省により、オオクチバスなどの防除手法の確立を目的として、平成17年度から蘭牟田池オオクチバスなど防除モデル事業を展開し、蘭牟田池における外来魚防除マニュアルを作成した。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/50310.html 蘭牟田池外来魚駆除マニュアル http://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/contents/1296457247646/index.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 滋賀県 外来魚問題 http://www.pref.shiga.lg.jp/g/suisan/mamorou-b-s/gairaigyotaisaku/gairaigyotaisaku-text.html 瀬能ほか(2008)日本の外来魚ガイド. 文一総合出版社. 東京